

2012
男女共同参画
研修会

「あらためて見てみよう わたしのこと、職場のこと ～あるある!わたしの悩みはみんなの悩み?!～ —“ワーク・ライフ・バランス”を考える—」

連合兵庫女性委員会

連合兵庫女性委員会では、6月を「男女平等月間」に設定し、毎年多様なテーマで男女組合員を対象に研修会を実施しています。

今年は、6月9日に兵庫勤労福祉センターで、ワーク・ライフ・バランス(WLB)をテーマにグループ討議を取り入れた研修を実施。当センター外部相談員の森野和子氏が講師を務め、多様な職種の49人が参加しました。

森野氏は、WLBの基礎知識のほか、WLBを政策や理念などの知識だけでなく、“自分ごと”としてとらえること、実践のためには各自が感じている現状を「見える化」し、課題を共有



し、解決策を見つけていくプロセスが大切と説明。参加者からは、「異業種でも悩みは同じと感じた」「自分を見つめる良い機会になった」「人事担当や若い人にも聞かせたかった」などの感想が寄せられ、有意義な時間を過ごすことができました。

担当者・北野直実氏の感想

ただ漫然と参加するのではなく、受講に際し、「到達イメージ」を持つこと、受講した内容をその場限りのものとせず、一つでも自分ができることを見つけ実行していくことの大切さを痛感しました。WLBは、ただ単に仕事と私生活の比重を半々にするという意味ではなく、個人のライフステージや仕事との関わり方の中で変化するものであり、トータルで見ても自分が納得できる生き方をすればよいのだということや、男女共に働きやすく、働き続けられる職場にするには、経営陣をはじめ男女各々の意識改革、コミュニケーションが不可欠だということをあらためて認識しました。今回得た「気づき」を今後の活動に活かしていきたいと思います。